

伊予鉄タクシー

女性ドライバー、今年度既に4人採用 職場や労働、就労条件の整備が奏功

伊予鉄タクシー(松山市竹原2-3-15、清水一郎社長)の女性ドライバー採用策が奏功している。専用パウダールームの設置や休日取得変更対応など職場環境の整備に加えて、短時間勤務やカーナビの導入など労働環境にも配慮したことで、今年度に入り7月末まで新規に計4人を採用。これにより女性ドライバーは16人となり全体の1割超となっていて、今後も積極的に採用する方針だ。

伊予鉄タクシーは、女性ドライバーを積極的に採用するため働く環境を整備。その結果、平成29年10月に国土交通省の「女性ドライバー応援企業」の認定を受けた。女性専用更衣室・休憩室や専用パウダールームなど職場環境の整備に加えて、介護や育児に対する休日取得日変更対応など労働環境にも配慮したことが認められた。この認定の取得以後は、従来からのGPS(全地球測位システム)



設置に加え今年5月にはカーナビゲーションシステムを10台に導入し、女性ドライバーの業務中の安心心を確保した。このほか土日曜日の休日取得や普通自動車2種免許取得費用の全額負担などを実施した。これらの就労環境を整備する一方、給与面では固定給を導入(希望に応じて歩合給も選択可)している。

こうした取り組みが、年間1、2人程度だった女性ドライバーの採用に効果が表れ始めた。今年4月に1人を採用後、5月には1人を入社。さらに7月には2人が入社した。これにより女性ドライバーは合計16人となり、全ドライバー120人に占める女性の割合が1割を超えた。

いよてつ保育園2カ所(永代町9と三町3)の利用も可能なことから同社は「30歳代のパート女性ドライバーが増えている。自身の家族の都合に合った働き方ができ

る」(営業部)としていて、女性ドライバーの一層の確保に期待を寄せている。